

木版画（一版多色） 凸版

□主に扱う学年・時間

5～6年生 8時間

□はんがの特徴

- 木の板に描いた線を主に彫刻刀で彫り、彫った形に色を付け、紙に写し取る版画
- 黒い紙に刷るため、彫った線が黒くなる
- 色のハーモニーが美しい



□準備する材料・用具

- ①版木（シナベニヤ板が多い）
- ②彫刻刀 ③水彩絵の具
- ④和紙などの版画用紙 ⑤バレン ⑥鉛筆4B程度（コンテ） ⑦油性ペン
- ⑧カーボン紙 ⑨トレーシングペーパー ⑩墨汁 ⑪刷毛 ⑫セロテープ
- ⑬版画作業版があると安全

□授業のながれ

授業のながれ(子どもの活動)	教師の準備・支援
<p>1 下絵を描く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな場面を描こうかな ・生活の中から ・友達 ・動物 ・花 ・お話の絵 ・空想の世界 <p>2 版木に絵を描く（下記の方法がある）</p> <p><方法①> 版木に直接下絵を描く</p> <p><方法②> 上質紙などに下絵を描きバレンで強くこすって転写する</p> <p><方法③> カーボン紙で転写する</p> <p>（ 詳細は木版画の項参照 ）</p> <p>3 彫る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2のいずれかの方法で描いた線を彫刻刀で彫る 	<p>1 参考作品を見せる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩の作品があると参考になる <p>2 学年の実態、描くテーマによって①、②、③の方法のうち、いずれかを選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①の場合できあがりは左右反対に写る ・左右反対になって困るテーマは②、③を使う ②③は下絵と同じになる <p>3 あまり下絵にこだわらずに、慎重になりすぎないように彫る</p> <p>！三角刀か小丸刀を使う 丸刀では線が太くなりすぎる</p>

4 刷る

①事前に刷り紙を準備しておく

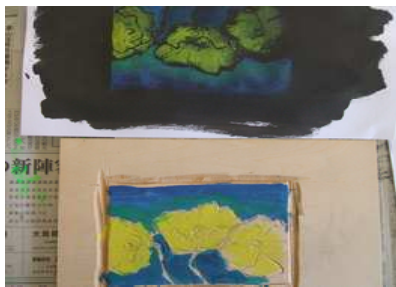
②版木に刷り紙を止める

- ・3で彫った版木に4-①の刷り紙をセロテープで止める



③水彩絵の具で刷る

- ・ハレンを使って丁寧に刷る
- ・それぞれの色に少し白を混ぜて刷る



- ・絵の具が乾かないうちに1色ずつ早めに刷る
- ・色を確かめながら、紙がズレないように

5 台紙に貼る

- ・刷り上がったら、作品の縁を5mm程度残して切り取る。
- ・台紙に貼る

6 鑑賞会

4 厚めの版画用紙（薄いと破れる）の表に墨汁を濃いめに塗っておく

①刷り紙の大きさは、版木よりひとまわり大きい紙

- ・市販の色つき版画用紙もある

②ズレないようにするために片面だけ止める

③黒い紙に刷るため、そのままでは色がわかりにくい

- ・白を混ぜると不透明な感じになり、発色がよい

!あまり水を多く使いすぎないように

